とやま中央会 FAX 情報

2026. 11. 2 発行 №738

不正アクセスによる情報漏洩への対策について

最近、日本企業のシステムがハッカー等外部から攻撃されて個人情報が漏洩する事件が急増しています。

今回、独立行政法人情報処理推進機構が行っている注意喚起の内容に基づき、分かりやすく解説します。

１．概要

最近、日本の金融機関（銀行や証券会社など）や通信会社など、幅広い企業で「不正アクセス（ハッキング）」を受けて情報が外に漏れる事件が相次いで発表されています。

特に、大量の個人情報を扱っているネットサービスや会員システムが狙われ、個人情報などの重要なデータが大量に盗まれる事件が連続して起きています。

２．速やかに行うことが望ましい安全点検

現時点では、「特定のアプリやツールの穴が狙われた」と決まったわけではありません。最近の事件の傾向を見ると、「外に公開しているWEBサイトやシステムのすき間」や「ログイン用アカウントの乗っ取り」が侵入のきっかけ（入口）になっていると考えられます。これらを踏まえ、今すぐ以下の３項目をチェックしてください。

⑴自社でインターネット上に公開しているシステムやサービスの点検

①作成し公開しているものの洗い出し

自社が独自で作って動かしているウェブサイトやサービスがどれくらいあるか、漏れなく確認する。

②「足跡（アクセスログ）」の異常チェック：

各システムの「利用記録（ログ）」を見て、不自然な動きがないか探す。

例）異常な量のエラーが出ていないか、普段の利用状況と比べて変な点がないか。まずは直近１ヶ月分、次に過去３ヶ月分というように段階的に幅を広げて調べる。

③修正パッチ（安全版プログラム）の適用確認

システムの部品に、まだ適用していない「セキュリティの穴を塞ぐ修正プログラム」が残っていないか確認し、未適用なら大至急適用する。

⑵会社で使っている「外部サービス」の洗い出しと点検

①使っている外部サービスの全把握

クラウドサービスやＶＰＮ（会社外から社内ネットワークにつなぐ仕組み）など、会社全体だけでなく、各部署が独自に使っているものも含めて全てリストアップする。

②サービスごとの記録（ログ）の異常チェック

ログを保存できる期間はサービスごとに違うため整理する。「ログインに何度も失敗した記録」のような分かりやすい異常だけでなく、「普段使わない時間帯のアクセス」「見覚えのない場所（ＩＰアドレス）からのログイン」など、日常と比べる必要がある不審な動きがないか点検する。誰が・いつ・どのようにログを確認できるかも整理しておく。

③アカウントの異常チェック
　作った覚えのない謎のアカウントが存在しないか、削除したり使えないようにしたはずのアカウントが、勝手に復活（有効化）されていないか確認する。
⑶手元にあるデータの「再点検」
　今回の事件の多くは「情報の盗み出し」につながっています。データを盗まれると、悪用されるだけでなく、「盗んだデータをネット上に晒すぞ」と脅迫されたり、闇ルートで売買されたりして、被害がどんどん大きくなる傾向があります。会社が今どんなデータを持っているかを正確に把握し、不要なものは消去して、手元に残すデータを「必要最小限」に絞り込む点検をすぐに行ってください。

３．点検で異常がなくても「速やかに行うことが望ましい強固な対策」

⑴外に公開している自社システムでやるべき対策
①公開範囲の見直し:
　本当にインターネット上に全て公開する必要があるか見直す。
②ログイン認証の強化
　パスワードの強化に加え、スマホアプリ等を使った「二重の鍵（多要素認証）」を導入する。
③権限の見直し
　ユーザーやシステムに与えている操作権限が必要以上に大きくないか見直す。
④連携部分（ＡＰＩ等）の管理
　外部プログラムとつなぐ仕組みの管理状況や権限を見直す。
⑤ログの見直し
　取るべき記録の内容や保存期間を延ばす。
⑵利用している外部サービスでやるべき対策
①ログイン認証の強化
　多要素認証の導入やパスワード強化。
②アカウント発行範囲と管理の見直し
　アカウントをあげる範囲を限定し、定期的に「不要なアカウントが残っていないか」掃除（棚卸し）するルールを作る。
③連携部分の管理
　システム同士をつなぐ部分の管理を見直す。
④ログの見直し・追加対策:
　ログの記録内容や保存期間の見直し、使えるセキュリティオプションの検討。
⑶保有するデータでやるべき対策
①保存の再検討
　「本当にこのデータを持ち続ける必要があるか？」を考え直す。
②保管場所の見直し
　より安全な場所に移動する。
③アクセスログの強化
　データに誰が触ったかの記録を詳しく取り、保存期間を延ばす。
④暗号化
　万が一盗まれても中身が読めないよう、データを暗号化する。

４．会社全体・取引先も含めた「総合的なセキュリティ対策」

　一時的な緊急点検が終わった後も、しっかりとした対策を続けるには、社内体制だけでなく「海外の拠点」や「取引先・委託先」まで含めた対応が必要です。経済産業省が出している「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」などを参考に、経営者のリーダーシップのもとで以下の３原則を守って進めてください。
⑴サイバー攻撃のリスクは会社経営の重要課題であると認識し、自らリーダーシップをとって対策を進めること
⑵自社だけでなく、国内外の拠点、ビジネスパートナー、委託先など「サプライチェーン全体（取引のつながり全体）」に目を配ること
⑶普段から緊急時まで、効果的な対策をするために、関係者（社内・取引先・専門機関）と積極的にコミュニケーションをとること
　経済産業省ではサイバーセキュリティ経営ガイドラインと支援ツール、独立行政法人情報処理推進機構では中小企業の情報セキュリティ対策ガイドラインを公開しておりますので、是非ご覧ください。

◇ リサイクル製品及びエコ・ステーション公募のご案内

富山県では循環型社会づくりに向け、廃棄物を利用したリサイクル製品や、民間事業者等による資源物（古紙）の回収拠点を認定しています。

令和８年度の公募を行っていますので、ぜひご応募ください。（令和５年度に認定されたリサイクル製品、令和３年度に認定されたエコ・ステーションの更新についても同時に受け付けます。）

１．認定のメリット

⑴リサイクル製品

認定証が交付され、製品に「富山県認定リサイクル製品」の表示を行うことができるほか、県が発注する公共工事にて優先的に調達されます。

⑵エコ・ステーション

認定証及び認定銘板が交付され、認定銘板を掲示することにより、県の認定を受けた回収拠点としてアピールすることができます。

２．応募方法

所定の申請書を締切日までに富山県環境政策課へ提出してください。申請書は富山県リサイクル認定制度のホームページよりダウンロードできます。

３．応募締め切り

令和８年１１月３０日（月）

４．お問い合わせ先

富山県生活環境部環境政策課廃棄物対策係

ＴＥＬ：０７６－４４４－３１４０

詳細につきましては、富山県リサイクル認定制度ホームページをご確認ください。

◇ 「地域と事業の未来をつなぐセミナー」開催のご案内

富山県では、事業承継の推進に向け下記の通りセミナーを開催いたします。事業承継は、事業を「終わらせない」ための手段であると同時に、受け継いだ経営資源を活かして新たな価値を生み出す機会でもあります。

本セミナーでは、M＆A承継を譲り手・継ぎ手双方にとって有効な選択肢として捉え、それぞれの判断基準や進行プロセス、成約後の経営改善について具体的に学べます。

１．開催日時

令和８年１１月２５日（水）

１８：００～１９：３０

２．開催場所

富山県民会館７０１号室（富山市新総曲輪４－１８）及びオンライン配信

３．内容

・富山県及び関係機関からのご案内
・M＆A承継・第二創業の基礎解説
・承継後の成長・経営改善に関する講演
・事業承継経験者とのトークセッション

４．参加費　無料

５．お問い合わせ先

富山県商工労働部地域産業振興室

経営支援課金融担当

ＴＥＬ：０７６－４４４－３２４８

運営委託先：株式会社ライトライト

ＴＥＬ：０１２０－４１７―００７

本セミナーの詳細は株式会社ライトライトホームページをご確認ください。

ファーストバンクの各種ローンは

スマホで簡単！Web 完結♪24 時間申込 OK！！

詳しくは富山第一銀行のホームページをご確認ください

◇ 「人口戦略フォーラム in とやま～ウェルビーイングでつながる北陸～」開催のご案内

富山県では、ウェルビーイングの向上による若者や女性に選ばれる地域づくり、人口減少対策の機運を醸成するためにフォーラムを開催します。

本フォーラムでは、北陸三県を中心としたウェルビーイング先進地域の自治体や企業等の連携を深めます。

１．開催日時

令和８年１１月１０日（火）

１４：００～１７：４０

２．開催場所

富山県民共生センターサンフォルテ２階ホール等（富山市湊入船町６－７）

３．主なプログラム

⑴パネルディスカッション①

北陸から創造する人口戦略～若者や女性に選ばれる地域づくり～

⑵パネルディスカッション②

ウェルビーイングから広がる北陸の地域づくり～地域発の実践と新たな価値の創造～

⑶パネルディスカッション③

ウェルビーイングの世界的潮流～日本と北陸の未来を考える～

⑷ウェルビーイングセッション

①地域の未来をつくる実践事例

②働く幸せをつくる実践事例

⑸交流会

４．定員　３００名

５．参加費　無料

６．申込方法

富山県ホームページよりお申し込みください。

７．お問い合わせ先

人口戦略フォーラム in とやま運営事務局

株式会社ＰＣＯ内　平日９時～１７時

ＴＥＬ：０７６－４６１－５７１８

本フォーラムの詳細等につきましては、富山県ホームページをご確認ください。

◇ 令和８年熊本地震義援金への御礼とご報告

このたびの令和８年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本会では、被災された中小企業及び組合の皆様を支援するため、会員組合の皆様に義援金へのご協力をお願いしてまいりました。

多くの会員組合の皆様から温かいご支援をお寄せいただき、義援金は総額 1,250,000 円となりました。

お預かりました義援金は、令和８年９月３０日に全国中小企業団体中央会へ送金いたしました（富山県中央会より 100,000 円、富山県中央会職員一同 100,000 円とあわせて 1,450,000 円を送金）。

今後、全国中小企業団体中央会を通じて、被災地である熊本県中小企業団体中央会並びに被災された中小企業及び組合の皆様へ届けられることとなっております。

皆様から寄せられました温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

ご協力いただきました会員組合の皆様、誠にありがとうございました。

新型定期預金
マイハーベスト
人を思う。未来を思う。
商工中金

発行　富山県中小企業団体中央会　〒930-0083 富山市総曲輪 2-1-3　富山商工会議所ビル６階
URL.https://www.chuokai-toyama.or.jp/　　TEL.076-424-3686　FAX.076-422-0835